

# 次世代をはぐくむ まちを目指して

「ゆかりのまち」提携市  
茅ヶ崎市長  
**服部 信明 氏**



## 教育随想



平成 28 年 10 月 1 日

# 10 月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

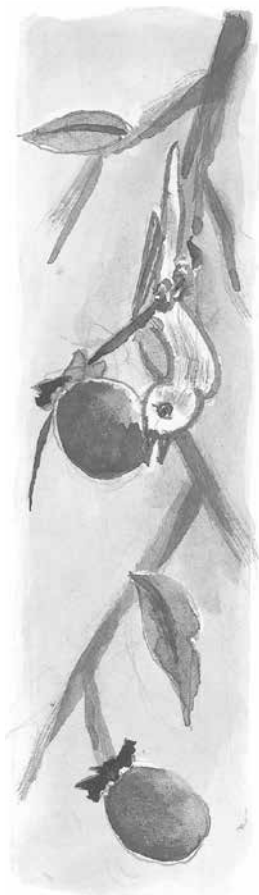
|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 教育随想……………                        | 1 |
| 「ゆかりのまち」提携市<br>茅ヶ崎市長             |   |
| 服部 信明氏                           |   |
| この人に聞く……………                      | 2 |
| がら紡製品 企画・販売<br>稲垣 光威氏            |   |
| 羅 針 盤……………                       | 2 |
| 小豆坂小校長                           |   |
| 金指由香里                            |   |
| ふれあい……………                        | 3 |
| 新香山中                             |   |
| 亀山奈穂子                            |   |
| 特 集……………                         | 4 |
| 「水とみどりの森の駅」10周年<br>-森とともに育つ子供たち- |   |
| お知らせ……………                        | 6 |
| フォト・ヒストリー…                       | 8 |
| スキー合宿 (平成 6 年)                   |   |
| この本を……………                        | 8 |

茅ヶ崎市は、神奈川県の中南部に位置し、東京から西に五十キロメートルあまり、南は海岸線約六キロメートルに及ぶ相模湾に面しています。昭和二十二年十月、神奈川県下で八番目の市として市制を施行し、来年七十周年を迎えます。

岡崎市と茅ヶ崎市は、昭和五十八年に大岡越前守忠相を縁として「ゆかりのまち」の提携をし、今年で三十三年となりました。

人口は、現在二十四万人を超え、ゆるやかな増加で平成三十二年にピークを迎える推計をしており、少子化が進む中、平成二十二年度に小学校一校を新設しました。

本市では、平成二十三年度を初年度とし、「学びあい 響きあう 茅ヶ崎の教育を創造する ～豊かな人間性と自律性をはぐくむ～」を基本理念と



した教育基本計画を策定しました。この計画は、教育の大綱の理念や、市の総合計画とも連動しています。

子どもたちは、未来への可能性を秘めた存在です。豊かで鋭い感性を持ち、大きく成長しようとしています。そうした次世代の「成長したいという欲求」を受け止めていく責任と使命が私たち大人にはあると思います。

子どもの成長に関わるということは、私たちの生き方や姿勢が問われること

になるのではないのでしょうか。

次世代育成は、「大人の気づき」と「子どもと真剣に向き合うこと」から始まり、学校だけではなく、家庭だけではなく、地域だけではなく、三者がそれぞれの役割と責任を自覚し、学びあい、響きあって、教育の機能は高まっていくと思います。

茅ヶ崎市では、学校教育と社会教育を中心に、次世代育成のための教育を展開したいと考えております。

(はっとり のぶあき)



## 人と人をつなぐ

から紡製品 企画・販売

稲垣 光威 氏

紡績機がガラガラと音を立てながら回転する。細く短い綿の繊維は絡まり合い、一本の長い糸となっていく。こうしてできた太さにむらのあるがら紡の糸は、素朴で優しく、どこか懐かしい風合いがある。

「以前、出前授業で、生徒さんからどうして儲からないのに、このような仕事を続けるのかと質問されました。私は『仕事というより、生き方です』と言いました。でも、生徒さんたちはよく分からないという顔をしていましたね。」

三河がら紡発祥の地である滝町で明治から昭和まで約六十五年間にわたってがら紡工場を営んでいた家庭に生まれた稲垣さんは、繊維に囲まれて育った。大学は繊維とは関係の

ない商学部に進み、卒業後は商社に就職した。

転機が訪れたのは父親が営んでいた実家の紡績工場を閉めるときだった。

「当時はすでに化学繊維が主流となり、海外の廉価な繊維もどんどん入ってきました。その波に押されての廃業だったのですが、ふと父がつぶやいたのです。『岡崎は昔からがら紡で栄えてきたところなのに、繊維業が消えていくのは寂しい』と。何か自分のできることはないだろうかと考え、がら紡に懸けようと決意しました。」

そこで自分で新たに会社を立ち上げ、がら紡を残す形を模索した。

「繊維業は、綿を育てる、糸を紡ぐ、布を織る、染色する、というように細かく分業化されます。ちょうど短い繊維を紡いで一本の糸にする、がら紡のような産業です。そのため、職人ですら、自分の仕事がどのような形となっていくか意識していない人が多いのです。そこで、がら紡でしかできない製品をプロデュースすることで、それぞれの仕事のつながりと成果を自覚してもらおうと考えました。」

しかし、その思いはすぐには形にならなかった。工場に話を持ち込んでは断られ、請け負ってくれるところを探し歩いた。ようやく納得する商品ができるまでに五年もの歳月を要した。染色にもこだわり、その二年後には、柿渋染を施して耐久性を高め

た「本気布（まじぎれ）」を商品化した。がら紡にこだわった本気の思いを名前に込めた。二〇〇七年度には「本気布」は岡崎ビジネス大賞で特別賞を受賞し、NHKでも紹介されたが、その後も苦労は絶えない。「分業化されているので、どれか一つでも欠けてしまうと商品にならないのです。後継者の問題もあり、継続性という点で常に不安があります。しかし、儲けより、ここ岡崎で培われてきた繊維産業の歴史を伝える布、人のぬくもりがする布を広めたい。大それたことはできませんが、布を介して人と人をつなぐ。それが私の生き方です。」

稲垣さんは小中学校への出前授業やワークショップも精力的に行っている。父親から渡された思いは途切れることなく燃り合わされ、稲垣さんによって次の世代へとつながれていく。



氏名 いながき みつたけ  
生年月日 昭和三十七年一月六日  
住所 岡崎市小呂町

# 羅針盤

## 授業を語る教師集団に

小豆坂小校長

金指由香里

「岡崎競馬場のことは、四年生では歴史的な時間の流れがつかめないで、深い追究は難しいですね。」

「多面的にみる思考スキルなら、座標軸よりボーン図を使って全体交流を進めた方がいいと思うけれど。」

こんな先生たちの会話が職員室の中で飛び交う。また、暑い中教材収集に学区に出かけ、調査に走り回る先生や学習指導案検討で熱心に話し合う先生たちがいる。

これは、研究会を控えた本校の夏休みの一コマである。「大変な夏休みです」と言いながらも、何だか先生たちは生き生きと輝いて見えた。

現在、中教審では、次期学習指導要領についての審議が進められ、今年度中に答申、その後改訂告示の予定である。特に今回の改訂では学習内容の削減は行われず、「主体的・対話的



## 本心にふれて

新香山中 亀山奈穂子

出会った頃のA子は、何に対してもやる気がなく、夢や希望ももてない状態であった。家族との関わりも薄く、信頼できるのは母親だけであった。そんな母も忙しさのために十分に会話ができない状況であった。A子の口癖は、「私、どうなってもいいもん。みんな私のこと、うざいだけだら」というものだった。

小学生のころから休みがちで、それは中学二年生まで続いた。三年生になつてからは、遅刻しながらも登校日数を増やそうと頑張っていた。登校すると、まず保健室を訪れた。担任は、A子が保健室にいると心配して様子を見てやって来た。しかし、A子は、担任の気持ちは理解しているが、心を開こうとしなかった。

私は養護教諭として、A子と担任のかけ橋になることにした。まず、A子のストレスを緩和させるために

寄り添い、悩みや怒りを聞くことにした。しかし、生活リズムの崩れからか、六時間目に登校する日が続いた。昼夜逆転気味の生活を改善するために生活カードを記録するように勧めた。しかし、A子の生活は一向に改善が見られなかった。三年生も後半になり、進路選択を迫られても、「どうでもいい。進学するとお金もかかるし、どこの学校も行けん」と無気力な発言や状態が続いた。

そんなある日のこと、A子は登校直後から表情が明るかった。

「先生、就職するわ。就職すると、給料もらえる。しかもその就職先は住み込みで働かせてくれるし、勉強の面倒も見てくれるんだって。家のためにもなるし、それがいいばんいと思う。」

母親から勧められた就職先のことを生き生きとした口調で話すA子を見てうれしくなった。翌日からの保健室は、就職先の話が話題の中心となった。しかし、その喜びは長くは続かなかった。A子は日に日に元気を失っていった。三学期が始まったある日、ぐったりした様子でA子は言った。「もう、何もかもどうでもよくなつた。だいたい私が、住み込みで働けるわけない。」

そう言うのと机に突っ伏し、肩を震わせた。私はA子の思いを知り、強く抱きしめた。私の腕の中でA子は

「本当は高校生になりたい」とかすれ声で言った。私は胸が張り裂けそうだった。A子の本心に気付いてあげられなかった。前向きになったように見えていたが自分の気持ちを抑え、苦しんでいたのだった。

「つらかったね、そんなに苦しまなくていいよ。A子の人生は、誰のためでもない、あなたが主役だよ。」

私は、A子に何度も声をかけた。

A子の本心を担任に伝え、一緒になつて保護者を説得した。母親も本人の気持ちを大切にしてくれた。それからは、登校する日も増え、担任と進学先や受験のことを真剣に考えるようになった。そして、A子は無事、高校に進学した。

高校入学後、制服姿で保健室を訪問したA子の晴れ晴れとした笑顔がまぶしかった。



で深い学び」（いわゆるアクティブ・ラーニング）の視点からの学習過程の在り方が重視される。「どのような学びか」つまり「どのような単元を構想し授業を展開するのか」である。これは、私たち岡崎の教師たちがこれまで積み上げてきた授業研究そのものである。「学習課題は子供のものになっているか」「子供たちが考えを深め広げる学び合いの場面があるか」「学びを振り返り、次につなぐことができるか」等、授業研究の中で何度話し合ってきたことだろう。

先生たちは日々、校務に追われる中でも教材研究や授業準備に真摯に取り組んでいる。未来を創る子供たちに必要となる資質や能力を育むのは、先生たちのたゆまない実践に委ねられている。

国立教育政策研究所総括研究官の千々布敏弥氏は「深い学びとは、日本の教師たちが授業研究を通じて追究し続けてきたものだ。子どもの深い学びの前に教師の深い学びがある」と述べられている。

学校には多くの今日的課題や要求が山積している。だからこそ、若手もベテラン教師も学び合い、「授業を語る」職員室でありたい。そして教育の夢を語り合える「チーム学校」でありたいと思う。





# 「水とみどりの森の駅」10周年 —森とともに育つ子供たち—

## 森を学ぶ



（六ツ美中部小）



（常磐小）

▲ わんPark の「冒険ツリーハウス」で遊ぶ子供たち

「水とみどりの森の駅」は、自然体験や環境学習をすることができる駅（施設）である。平成十八年に岡崎市と額田町が合併し、乙川水系がひとつに結ばれたのを契機に、豊かな水源の森を守る活動として、「水とみどりの森の駅」が市から指定された。また、総合案内所として榎山町に「森の総合駅」が設置された。その後、新たにオープンされた施設を加えて現在の形になった。

開設から十年目を迎えた今年、「水とみどりの森の駅」にある「鳥川ホタルの里湧水群」は、環境省の「名水百選選抜総選挙秘境の部」で全国一位に輝き、脚光を浴びている。

頭で考え、心で感じ、記憶に残る活動を展開しようとして、様々な自然体験イベントが開催されている。小中学校だけでなく、幼稚園・保育園の子供たち、そして多くの市民団体が利用している。

「水とみどりの森の駅」に行くと、「森を学ぶ」「森を守る」「森を楽しむ」子供たちの姿を見ることが出来る。施設を積極的に活用することで、自然を大切にする子供たちの心を育み、水とみどり豊かな未来をともにつくっていききたい。



## 森を楽しむ

### ③くらがり溪谷（石原町）

清流で、ハイキングやマス釣り、バーベキュー、自然観察など多彩な活動を楽しむことができる。



▲ マス釣り体験

### わんPark（淡洲町）

正式名称は「岡崎市こども自然遊び場」。豊かな自然と触れ合い、自然の中で大切なものとして感じる心を育てている。



わんぱくキッズプログラム（梅園幼稚園）

## 「水とみどりの森の駅」 10年の歩み

緑の妖精：はっぴー



水の妖精：きらら

- 平成  
18年1月 岡崎市と額田町が合併  
おかざき自然体験の森、おおだの森、くらがり溪谷、千万町茅葺の里の4か所を、市が「水とみどりの森の駅」として指定した。
- 10月 榎山町に総合案内所として「森の総合駅」を設置した。
- 20年6月 「鳥川ホタルの里湧水群」が環境省より「平成の名水百選」に指定された。
- 22年10月 わんParkオープン  
24年4月 ホタル学校オープン  
26年3月 千万町茅葺の里閉鎖  
28年3月 環境省が行った名水百選選抜総選挙の「秘境として素晴らしい名水部門」において「鳥川ホタルの里湧水群」が全国第1位を獲得した。

※ インターネット投票で「秘境地部門」の総得票数7,540票中4,470票を獲得した。



②おかざき自然体験の森 (ハツ木町)

工作やお茶など様々な自然体験をしている。炭焼き小屋もあり、ここで作られた竹炭は水や空気の浄化にも利用されている。体験プログラムに参加して、森について学ぶことができる。



▲ エコマンダーと環境学習 (広幡幼稚園)



▲ 田植え体験



▲ 伐採した竹でおもちゃ作り (奥殿小)



▲ ツリークライミング



▲ 炭焼き体験 (細川小)



▲ 竹炭用の竹割り (岩津小)

①鳥川ホタルの里 (鳥川町) ~ホタル学校~

ホタルを通して自然環境を学んでいる。ホタルに関する様々な資料が展示されている。飼育室ではゲンジボタルの幼虫やそのエサとなるカワニナ (巻貝) を飼育しており、いつでも観察することができる。また、講習会でホタルの保護について学ぶことができる。



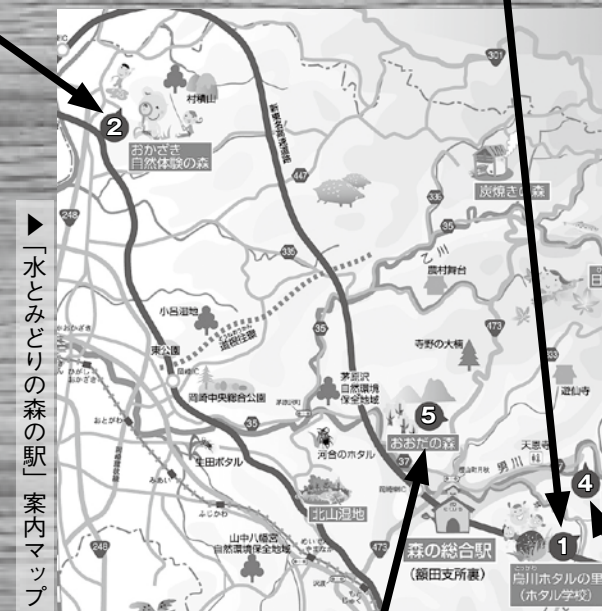
▲ 土の保水力実験



▲ ホタルを通して環境が学べる展示



▲ 川の生き物調査



▶ 「水とみどりの森の駅」案内マップ

⑤おおだの森 (榎山町・夏山町)

かつて薪山だったところに、市民の手でヤマザクラやモミジの植林をした。自然散策することができ、岡崎の観光名所として生まれ変わった。

森を守る



▲ 炭による土壌改善 (豊富小)



▲ 森を守る方のお話 (豊富小)



▲ 市民の手で植えられたヤマザクラ



▲ 里山保全活動 (ボランティア)

④本  
正  
の  
森  
を  
身  
育  
て

「水とみどりの森の駅」を授業で活用する際は、市の公用バスを無料で利用できます。(要予約)  
森の駅に関するお問い合わせは、岡崎市環境保全課 (0564) 23-6921まで。





● 教育最新情報

○ 研究発表会・授業研究協議会
二学期以降、小学校四校、
中学校三校で、研究発表と授業
研究協議会が開催される。

◆ 岡崎市立三島小学校

※市研究委嘱 (H26~28)
「思考力・判断力を伸ばす
社会科・生活科の授業―地域
教材の開発と思考・判断の『す
べ』を活用した学習指導を通
して―」

社会科・生活科で、子供が
直接経験や活動・体験をもと
に追究し、思考力・判断力を
伸ばす単元構想や、第二の学習
問題を組み込んだ授業展開を
工夫してきた。思考・判断
する際の、比較・関係付け・
推論などの方法を「すべ」と
呼び、それを獲得させること
を目指している。
当日は、授業公開、授業者

と語る会を行う。

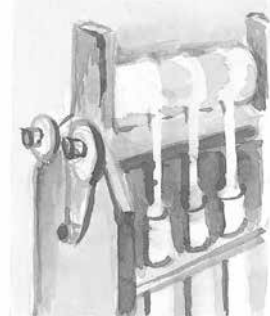
◆ 岡崎市立山中小学校

※市研究委嘱 (H26~28)
「生活に生きて働く『書く力』
の育成―『書写力』『語彙力』
『活用力』を基盤とした書く
授業を通して―」

国語科を中心に、「書く力」
の基礎となる書写力と語彙力
を伸ばし、それらの力を伝え
る相手や目的に合った書き方
をする活用力を身に付けるこ
とで、自分の考えをより確か
にしたり、考えを的確に伝え
たりすることができると子供の
育成を目指している。
当日は、三つの力を育てる
ために必要不可欠な視写・新出
漢字学習タイムと授業を公開
する。

◆ 岡崎市立葵中学校

※市研究委嘱 (H26~28)
「協働的に学ぶ授業の創造―
ICTの有効活用を通して―」
本校は、平成二十二年度よ
りICT環境を整備し、その
効果的な活用を探ってきた。



◆ 岡崎市立藤川小学校

「仲間と関わり合いながら、
主体的に学びを深める子供の
育成―学習・学級の規律作り
と子供を生かす日々の授業
実践を通して―」

子供の主体性を育くむため
に授業研究を実践してきた。
手立ては、①学習・学級の
規律作りと実践、②「トーク
タイム」「聞き取りタイム」の
活用、③主体性を育むための
関わり合いの場の創出、④学び
を深めるための子供を生かす
教師の出場、⑤教師同士の
「学び合い」の実施である。
当日は、「トークタイム」、
「聞き取りタイム」、授業を公
開し、教科部の協議会後に、
前田勝洋氏による講演を行う。

◆ 岡崎市立電海中学校

「チャレンジ 竜海式アク
ティブ・ラーニング―コミュニ
ニケーションを取り入れた
教科学習を中心に―」
生徒が主体的に学習に取り

◆ 岡崎市立小豆坂小学校

「地域と共に、未来を創る
小豆坂の子の育成―思考スキル
ツールを活かした小豆坂カリ
キュラムデザインの研究―」

子供が積極的に地域に関わ
り、思考スキル・ツールを活用
しながら探究的な学習を進展
させることで、子供の地域へ
の愛着心、思考力の育成を
目指して本研究を進めてきた。
当日は、ひらめきタイム
(思考ツールの習得を目指し
た業前活動の時間)と生活科、
総合的な学習、生活単元の
公開授業、授業協議会、文科省
視学官田村学氏、関西大学
黒上晴夫氏、名古屋大学久野
弘幸氏によるシンポジウムを
行う。

◆ 岡崎市立連尺小学校

「ESDの視点に立ち、算数
を楽しむ子供を育む岡崎・

連尺教育―コミュニケーション
能力を思考力・実践力へ―
算数の教科書を中心とした
四十五分の授業による問題
解決学習『岡崎・連尺モデルIV』
を展開する。子供の個を生か
し、関わり・広げること、
さらに、思考力を深め、実践力
を引き出す授業を提案する。
当日は、全学級で授業公開、
授業協議会、文部科学省調査官
笠井健一氏の講演を行う。

● 表彰

◆ 全国中学校体育大会

- 陸上
・女子 4×100m R
2位 甲山中
鳥居芽生・永井絵理香
田中海来・谷口琴音
・女子 100m
4位 城北中 高須鮎香
出場 甲山中 永井絵理香
・女子 200m
出場 甲山中 永井絵理香
・女子 800m
出場 甲山中 永井絵理香
・女子 走高跳
出場 六ツ美中 小寺波音
・男子 110m H
出場 新香山中 岩堀剛己
出場 六ツ美中 土屋翔栄
・男子 800m
出場 矢作北中 永井翔真
・男子 3年 100m
出場 新香山中 岩堀剛己

- 男子走高跳  
出場 福岡中 市川拓海
- 男子400m  
出場 矢作北中 高畑永遠
- 男子1500m  
出場 矢作北中 永井翔真
- 水泳  
女子400mメドレーR  
出場 北中
- 久田麻白・小倉由愛  
今村 晶・杉町瞭香
- 男子1000m平泳ぎ  
出場 矢作北中 永井 豪
- 男子2000m平泳ぎ  
出場 矢作北中 永井 豪
- 相撲  
男子  
ベスト16 竜海中 上條深能
- 柔道  
男子個人66kg級  
出場 東海中 竹市大祐
- ◆**東海中学校総合体育大会**  
陸上男子  
1年1000m  
優勝 竜海中 山下侑冨
- 110mH  
2位 新香山中 岩堀剛己
- 3位 六ツ美中 土屋翔栄
- 7位 竜海中 辻 日向
- 400m  
2位 矢作北中 高畑永遠
- 800m  
3位 矢作北中 永井翔真
- 2年1500m  
7位 翔南中 後藤謙昌
- 2年1000m  
6位 福岡中 筒井健人
- 7位 東海中 深瀬京佑
- 走高跳  
7位 福岡中 市川拓海
- 陸上女子  
800m  
優勝 甲山中 兼原遙花
- 1年1000m  
優勝 竜海中 土居心愛
- 4×1000mR  
優勝 甲山中
- 鳥居芽生・永井絵理香  
田中海来・谷口琴音
- 6位 北中  
大山夏輝・田中千尋
- 3年1000m  
2位 城北中 高須鮎香
- 3位 甲山中 永井絵理香
- 低学年4×1000mR  
3位 矢作中
- 高木菜摘・澤田幸奈  
齋藤未来・岡田 凜
- 6位 竜海中  
城所莉奈・手島美咲  
土居心愛・高野景子
- 1年800m  
4位 六ツ美北中 小山愛結
- 走高跳  
5位 六ツ美中 小寺波音
- 2年1000m  
7位 甲山中 谷口琴音
- 水泳男子  
2000m平泳ぎ  
優勝 矢作北中 永井 豪
- 1000mバタフライ  
2位 六ツ美北中 仲平千尋
- 4000mメドレーリレー  
4位 翔南中
- 築山稜平・塚本大翔  
竹下和輝・矢澤慧祐

- 水泳女子  
400mメドレーリレー  
3位 北中
- 久田麻白・小倉由愛  
今村 晶・杉町瞭香
- 2000mバタフライ  
4位 葵中 與五澤美希
- 4000mリレー  
5位 北中
- 鈴木日菜・今村 晶  
杉町瞭香・久田麻白
- 1000m平泳ぎ  
6位 城北中 岸原さくら
- 2000m自由形  
8位 六ツ美北中 岩村夏佳
- 柔道男子  
66kg級  
3位 東海中 竹市大祐
- 相撲男子  
ベスト8 竜海中 上條深能
- バレーボール男子  
3位 矢作北中
- ◆**愛知県中学校総合体育大会**  
陸上女子  
総合  
優勝 甲山中
- 3年1000m  
優勝 城北中 高須鮎香
- 2位 甲山中 永井絵理香
- 2年1000m  
優勝 甲山中 谷口琴音
- 1年1000m  
優勝 竜海中 土居心愛
- 800m  
優勝 甲山中 兼原遙花
- 4×1000mR  
優勝 甲山中
- 鳥居芽生・永井絵理香  
田中海来・谷口琴音
- 女子低学年4×1000mR  
2位 竜海中
- 城所莉奈・手島美咲  
土居心愛・高野景子
- 女子OP四種競技  
2位 葵中 木野瀬萌
- 3位 東海中 酒井響子
- 走高跳  
3位 六ツ美中 小寺波音
- 陸上男子  
2000m  
優勝 翔南中 角廣 陸
- 400m  
優勝 矢作北中 高畑永遠
- 2年1000m  
優勝 福岡中 筒井健人
- 1年1000m  
優勝 竜海中 山下侑冨
- 110mH  
優勝 新香山中 岩堀剛己
- 2位 六ツ美中 土屋翔栄
- 3位 竜海中 辻 日向
- 2年1000m  
2位 東海中 深瀬京佑
- 3000m  
3位 東海中 近藤総司
- 水泳男子  
4000mメドレーリレー  
2位 翔南中
- 築山稜平・塚本大翔  
竹下和輝・矢澤慧祐
- 1000mバタフライ  
3位 六ツ美北中 仲平千尋
- 水泳女子  
2000m自由形  
2位 六ツ美北中 岩村夏佳
- 2000m個人メドレー  
2位 六ツ美北中 岩村夏佳

- 4000mメドレーリレー  
3位 北中
- 久田麻白・小倉由愛  
今村 晶・杉町瞭香
- 柔道男子  
66kg級  
優勝 東海中 竹市大祐
- 相撲個人  
2位 竜海中 上條深能
- 剣道女子団体  
3位 矢作中
- バレーボール男子  
優勝 矢作中
- 2位 矢作北中
- 3位 六ツ美中
- バレーボール女子  
2位 東海中
- 3位 矢作北中
- ◆**NHK全国学校音楽コンク**  
ル愛知県大会  
小学校の部  
銀賞 矢作東小  
銅賞 梅園小
- 中学校の部  
銀賞 六ツ美北中  
銅賞 竜海中
- ◆**東海吹奏楽コンクール**  
金賞 美川中
- ◆**小学校バンドフェスティバル**  
県大会  
金賞(代表)  
(愛知県教育委員会賞)  
(朝日新聞社賞)  
金賞 大樹寺小  
銀賞 美合小  
銅賞 城南小

・カ  
ツ  
ト  
藤川小 土井誠司

## スキー合宿 (平成6年)

写真提供：福岡中学校

愛知県唯一のスキー場がある茶臼山を背景に並ぶのは、福岡中学校二年生の生徒である。平成六年二月、市内で初めてのスキー合宿を実施した。インストラクターは存在せず。スキー指導は教員が行った。前年度までは、山の学習を夏に行い飯盒炊さん、キャンプファイヤーなどを体験していた。これらは小学校でも実施していたので、異なった体験をさせたいと職員会議で検討の末、スキー合宿へと変更した。現在、市内のほとんどの中学校がスキー合宿を実施し、その中で立志の式も合わせて行っている。子供たちに、より感動ある体験をさせたいという教師の願いが、行事の根底には流れている。



常磐の山間を流れる青木川の豊かな水が、三河のながら紡を発展させた。優しい風合の布は、かつてがら紡工場で働いていた素材で温かみのある祖母の姿と重なる。目を閉じ、「本気布」を頬に当ててみた。人と人をつなぐ温かさを感じた。

## とホ

## 神無月



学芸会 (広幡小)

保全活動は自然との闘いとも言える。たとえ、一度手を加えても、それで終わるわけではない。森を守る多くの人たちの粘り強い取り組みには頭が下がる。秋の日、紅葉が里を彩り始める。この豊かな森の恵みは、人々の不断の努力に支えられている。

## とホ

## ツ

突き抜ける秋空のもと、おかしきつ子展が華やかに開催される。「あった、ぼくの作品」と駆け出す子供の笑顔がはじける。心を込めて作った作品は、世界に一つだけの宝物だ。今年もそんな笑顔が作品とともに会場を満たす。



\*心が折れる職場  
日本経済新聞出版社

見波 利幸  
¥850

心に残った一文  
飲み会が少ない職場は危ない

肝心なのは、飲み会や食事会の回数が多いか少ないかではなく、職場の人たちと、雑談を含め、「仕事の話が気楽にできる、あるいは仕事以外の話ができる空気があるか」なのだと著者は語る。

職場の雰囲気をつくるのは、若手教師か、中堅・ベテラン教師か、あるいは管理職か。教職員が子供の健全育成を願って、自分の個性を発揮し、活気あふれる学校をつくれるようにするのは、まぎれもなく校長の職責である。ほどよい緊張感と、笑顔が絶えない職場、そんな学校がいい。

\*吉田松陰修養訓  
致知出版社  
\*最強英語脳を作る  
ベストセラーズ  
\*渋沢栄一とフランクリン  
致知出版社

川口 雅昭  
¥1,200  
茂木健一郎  
¥780  
齋藤 孝  
¥1,500

六ツ美南部小 大西 和夫